第48回 松山まつり ポスターデザイン募集

5/13（必着）

松山の夏を熱く盛り上げる「松山まつり」のポスターデザインを募集します。

昨年のポスター

【内容】野球拳おどり・野球サンバをイメージしたポスターデザイン▼B2判もしくはB3判を縦使用（ポスターはB2判で掲示）▼色彩は自由▼「第48回松山まつり」と開催日「8月9日(金)・10日(土)・11日(日)」、「松山まつり実行委員会」の名称は必ず記入

【賞】採用作品1点＝賞状とデザイン料10万円、佳作3点＝賞状とデザイン料3万円

【応募方法】5月13日(月)（必着）までに、直接または郵送で、作品と別紙（実行委員会ホームページに様式あり）にデザインコンセプト、住所、氏名（ふりがな）、年齢、電話番号を書いて〒790-0067大手町二丁目5-7松山まつり実行委員会☎941-4111へ

【その他】応募作品の返却は不可▼未発表のもので1人1点まで、個人での応募に限る▼採用デザインの著作・版権は同実行委員会に帰属し、若干のデザイン修正をお願いする場合あり▼『坂の上の雲』のまち松山」・「いい、加減。まつやま」をアピールするため、採用作品にはデザインロゴを追加

お問い合わせは、観光・国際交流課☎948-6555・FAX943-9001へ

おめでとう！ かがやき松山大賞

近藤　智絵子 選手
（愛媛大大学院1年〈受賞時〉）
3月14日受賞

第24回全日本学生テコンドー選手権大会 女子45キロ級　優勝
第24回全日本テコンドー選手権大会 マッソギ成年女子45キロ級　優勝

田中　允人 選手
（愛媛大3年〈受賞時〉）
3月14日受賞

第24回全日本学生テコンドー選手権大会 男子71キロ級　優勝

愛媛大学Aチーム
3月14日受賞

第24回全日本学生テコンドー選手権大会 男子団体マッソギ　優勝

木村　志穂 選手
（本市出身）
3月22日受賞

第6回アジアテコンドー選手権大会 女子トゥル三段　準優勝
第24回全日本テコンドー選手権大会 マッソギ成年女子51キロ級　優勝

「椿園」リニューアルオープン

約500種のツバキが楽しめる松山総合公園「椿園」が3月17日、リニューアルオープンしました。

平成26年3月に開催される「第24回全国椿サミット松山大会」のプレイベントとして開かれた式典では、大会テーマに池田奈穂さん（椿中3年〈当時〉）の「咲きほこれ！椿の花と文化の松山」が選ばれ、表彰状などが贈られたほか、サクラメント松山姉妹都市協会の森本惇会長らが、記念植樹を行いました。

式典後、訪れた多くの市民は、バリアフリーに配慮した園路や回遊デッキが整備された同園を散策し、市花・ツバキに親しんでいました。

お問い合わせは、公園緑地課☎948-6851・FAX934-8723へ

5/3・4 北条鹿島まつり

櫂練踊り

北条地区に春を呼ぶ「北条鹿島まつり」が、5月3日（金・祝）・4日（土・祝）に開催されます。大注連縄張替えでは、大注連縄に織り込む「願い文」を募集しています。応募ポストをJR伊予北条駅・鹿島渡船待合所・鹿島観光情報センターに設置していますので、5月3日までに、応募してください。

日時		内容	場所
5月3日（金・祝）	10:00～15:30	きまぐれ市	鹿島神社前
	14:00～	みこし渡御・櫂練踊り・お供船	海上
		子供だんじり3体運行	鹿島公園広場
		イベント（おやじバンド・北条高校吹奏楽部など）	
		だんじり運行	明星川周辺
	15:30～	餅まき（みこし宮入後）	鹿島公園広場
5月4日（土・祝）	9:00～	大注連縄作り（一般参加可）	鹿島渡船場大鳥居前
	11:30～	大注連縄搬送	鹿島
	13:00～	お供船	海上
	13:10～	大注連縄張替え	

※お供船は鹿島から乗船

お問い合わせは、観光・国際交流課☎948-6555・FAX943-9001へ

地域で育つ松山っ子

第30回 小野小学校

児童数　男458人・女415人・計873人（平成25年3月1日現在）

小野をもっとすてきな町に

小野小学校は、地域のよさを生かし、地域に根ざした特色ある学校づくりを進めています。初めて総合的な学習の時間に取り組む3年生は、小野の町を題材に学習します。

まず調べたのは、小野小学校にあった与力松や葉佐池古墳などの古いもの、長年続いている小野商店街の夜市などの行事、獅子舞や亥の子などの伝統行事、ホタルが舞う小野川などの豊かな自然、大きな病院、お店があるなどの利便性。調べれば調べるほど、小野地区はとても住みやすく地域の人のつながりがあるよい町だと気付きました。

次に、もっと自分たちでよい町をつくっていきたいという思いから「町づくりシンポジウム」を開きました。地域づくりの活動をしている人を招いて話を聞き、20年後の町を思い描きました。それから同じ願いを持つ児童同士がグループになり、協力しながら町づくり計画を立てて「町づくり発表会」を行いました。「ホタルを生かした町づくりをしたい」「商店街の夜市で新しいイベントを計画したい」「地域でとれる新鮮野菜を使ったレストランを開くとよい」など、たくさんのアイデアが出てきました。

このような学習を通して、地域を愛し、地域社会の一員として地域づくりに参画できる子どもたちが育っています。

町づくり発表会

町づくりシンポジウム

松山っ子の声

（平成24年度当時）

自分たちが考えたような、安全に買い物ができる小野の商店街をつくりたいです。（3年男子）

小野を知らない人にも、住みたいなと思ってもらえる町にしたいです。（3年女子）